

## 平成31年度 行政評価事業別シート

	<b>実計対象</b>	<input type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	西條 圭
	<b>全体計画</b>						<b>経費区分</b>		-		<b>内線</b>	3415
<b>事務事業名</b>	4165 畜産総合対策事業											
<b>所 属</b>	150100 産業振興部・農林課											
<b>施 策</b>	05012100 農業の活性化											
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計										
	<b>科目</b>	060104 農林水産業費・農業費・畜産振興費										
	<b>事業</b>	010000 畜産総合対策事業										
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>						
畜産農家の衛生対策の向上等により、家畜伝染病の発生を防ぐ。 そのさと有機センターのメンテナンスの充実を図り、良質の堆肥を製造する。						ワクチンの普及、自衛防疫体制の整備及び畜産農家の衛生対策の向上等により、家畜伝染病発生の減少に寄与した。 家畜診療所の運営、北信食肉センターの運営に負担金を交付し、畜産振興・食の安全安心に寄与した。						

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

<b>平成27年度 実績</b>	<b>平成28年度 実績</b>
そのさと有機センター攪拌措置点検、袋詰設備及びロボットパレタイザー保守点検の実施	そのさと有機センター攪拌装置点検及び修繕
<b>平成29年度 実績</b>	<b>平成30年度 実績</b>
そのさと有機センターロボットパレタイザー及び袋詰め設備点検	そのさと有機センター攪拌装置点検および修繕
<b>平成31年度 予定</b>	<b>令和 2年度 予定</b>
そのさと有機センター施設設備の点検及び修繕	そのさと有機センター施設設備の点検及び修繕

指標名	無し					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成30年度 決 算	平成31年度 予 算
事業費		3,804	3,946
特定 財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		3,804	3,946
人員数 (人)	正規職員	0.4	0.4
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員 コスト	正規職員	2,860.0	2,860.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	2,860.0	2,860.0
市民一人当たりの経費		0.1	0.1
総額		6,664.0	6,806.0

(単位：千円)

平成30年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	955	消耗品191、修繕料764
13節 委託費	131	機械設備保守点検131
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	2,257	須高家畜防疫協議会負担金193、北信食肉センター管理運営負担金239、家畜診療所運営費負担金1,825
その他	461	土地借上料

(単位：千円)

平成31年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	966	消耗品 166 修繕料 800
13節 委託費	384	機械設備保守点検委託 384
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	2,126	家畜防疫協議会負担金180 北信食肉センター負担金 239 家畜診療所運営費負担金 1,707
その他	470	土地借上料 470

## CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	普通
評価コメント	畜産農家の規模は縮小傾向にあり、事業もそれに合わせ縮小していくのが妥当であると考え。しかし、家畜の伝染病に対応する体制づくりなど、家畜規模に影響しない部分は今後も継続が必要。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	普通
評価コメント	家畜防疫等の疫病対策には一定の効果があると考え。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	やや悪化
評価コメント	ハード面の経年劣化による修繕など、コストを圧迫している。	

## 振り返り（決算年度の取組み課題）

そのさと有機センターの設備修繕、更新が喫緊の課題である。

## ACTION

## 1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

## 総合評価コメント

今後、有機センター設備の老朽化対策が課題

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

## 2次評価コメント

家畜の疾病防止や公害防止に有効な事業である。

## 外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

## 外部評価コメント

--